

令和3年度 ダム工事技術者研修 実施要領（改訂版）

主 催 一般財団法人日本ダム協会

1. 目 的

本研修は、設計から施工までの実践的なプログラムを体系的に組んでおり、ダム工事技術者としての総合力形成をめざすとともに、施工計画作成の基本的な能力の向上を図る。ダム事業最前線で活躍する講師陣が、少人数制で分かりやすい講義を集中的に行うわが国最高レベルの研修である。

2. 対 象 者

- ① 建設会社等においてダム工事に従事する中堅技術職員であって、大学(土木系)卒業後5年以上、又は高校(土木系)卒業後7年以上経過し、そのうちダム工事の施工に関する現場実務経験3年以上の者で1級土木施工管理技士、又はこれと同等程度の資格を有すると認められる者。
 - ② コンサルタント会社等においてダムに関わる技術業務に関し、①と同等程度と認められる業務経験を有する技術職員。
 - ③ 地方公共団体、水資源機構等の行政関係の職員で、ダム工事の施工に関して、①と同等程度と認められる業務経験を有する職員。
- ※ 定員に余裕があるときは、上記以外でも受講を認める場合がある。また、状況によっては、リモート参加を認める。

3. 募 集 人 数 30名（現地定員15名、WEB定員15名）

4. 研 修 期 間 令和4年1月17日(月)～1月21日(金) 5日間

5. 申 込 締 切 期 日 令和3年12月24日(金)

6. 科 目 及 び 講 師 別紙 時間割のとおり

7. 申 込 先 一般財団法人日本ダム協会 研修事務局 廣池(hiroike@jdam.jp)
〒104-0061 東京都中央区銀座 2-14-2 銀座G Tビル
TEL 03-3545-8361 FAX 03-3545-5055
申込用紙は、日本ダム協会のホームページ(下記)から
ダウンロードしてください。
<http://damnet.or.jp/jdf/R3ken-offer.doc>
<http://damnet.or.jp/jdf/R3ken-offer.pdf>

8. 集 合

- (1) 集合日時 令和4年1月17日(月) 9時
 - (2) 集合場所 中央会館(銀座ブロッサム) 7階 ローズの間
〒104-0061 東京都中央区銀座2-15-6 (ダム協会の東隣)
- (リモート参加希望者には、ZOOM参加用アドレスを送付します)



(3) 交通機関

- 東京メトロ 有楽町線新富町駅 1番出口 徒歩2分
- 東京メトロ 日比谷線東銀座駅 3番出口 徒歩5分
- 都営地下鉄 浅草線東銀座駅 A7番出口 徒歩5分

9. 研 修 費

- (1) 研修生1人当たり 72,000円(テキスト代、消費税を含む)
宿泊及び食事は各自手配してください。
(昼食については、レストラン、コンビニ等が近くにありますが)
- (2) 宿泊費、食費及び会場への往復旅費は上記経費に含まれていません。

10. 研修費振込先 みずほ銀行 築地支店 普通預金 No. 1426905
一般財団法人日本ダム協会
振込手数料は、ご負担ください。

11. 持参品

- (1) 筆記用具、電卓、定規
- (2) 印鑑及び健康保険証等
- (3) 研修中の服装及び履物は、研修にふさわしいものを着用してください。

12. その他

- (1) この研修は、土木学会の継続教育（CPD）認定プログラムです。CPD認定証明が必要な方でWebでの参加者はCPDレポート提出（受講して得られた所見（学びや気づき）を100文字以上で提出）が必要となります。
- (2) 研修期間中、派遣者等から研修生に連絡する場合、やむを得ないもの以外は講義時間外又は郵便を利用してください。
（講義中の電話の取次ぎは原則として致しません。）
- (3) 駐車場はございません。

令和3年度 ダム工事技術者研修時間割(修正案)

月日	時間	時間配分(min)	教 科 目	講 師 所 属	講 師 名
R4 1/17 (月)	9:20～ 9:50	30	受付 / 説明	(一財)日本ダム協会 常務理事	廣 池 透
	9:50～ 10:00	10	開講挨拶：(一財)日本ダム協会	専務理事 光 成 政 和	
	10:10～11:40	90	ダムの地質調査	(一財)ダム技術センター 技術第二部長	脇 坂 安 彦
	12:30～15:10	160	コンクリートダムの設計	(独)水資源機構 総合技術センター ダムグループ長	木 戸 研 太 郎
	15:20～16:50	90	ダムコンクリート	(独)水資源機構 総合技術センター 上席エンジニア	松 枝 修 治
	計	380			
18 (火)	9:10～11:40	150	コンクリートダムの施工計画	西松建設(株) 平取ダム出張所 副所長	永 田 豪
	12:20～14:00	100	コンクリートダムの施工と施工管理	佐藤工業(株) 本社土木事業本部営業推進部営業推進第二課 担当課長	片 岡 大 到
	14:10～16:50	160	フィルダムの設計と堤体材料	(独)水資源機構 総合技術センター 上席エンジニア	伊 藤 邦 展
	計	410			
19 (水)	9:10～11:10	120	フィルダムの施工計画と洪水吐き	株大林組 土木本部 生産技術本部 広島支店馬越トンネル補強工事事務所	太 田 親
	11:20～12:10	50	i-Construction事例紹介 (コンクリートダム)	(株)大林組 生産技術本部ダム技術部担当部長	土 橋 武 夫
	12:50～13:40	50	i-Construction事例紹介 (フィルダム)	鹿島建設(株) 土木管理本部統括技師長	大 内 齊
	13:50～15:20	90	フィルダムの施工と施工管理	前田建設工業(株) 土木事業本部施工支援部上級技師長	山 本 與 四 朗
	15:30～16:50	80	河流処理と基礎掘削	清水建設(株) 土木技術本部 ダム統括部 主査	山 下 哲 一
	計	390			
20 (木)	9:10～10:10	60	ダムの再開発	鹿島建設(株) 土木管理本部土木工務部ダムグループ長	林 健 二
	10:20～12:20	120	台形CSGダムの設計と堤体材料	(一財)ダム技術センター 技術第一部長	安 田 成 夫
	13:00～14:30	90	台形CSGダムの施工計画と施工	安藤ハザマ 土木事業本部技術第三部長	藤 田 司
	14:40～15:40	60	基礎処理	飛鳥建設(株) 関電笠置発電所作業所 課長	高 橋 岳 大
	15:50～16:50	60	ダムの環境とダム工事の環境対策	(株)熊谷組 土木事業本部 ダム技術部副部長	沼 宮 内 雅 人
	計	390			
21 (金)	9:10～11:30	140	ダム再生・ダム積算・海外ダム	(一財)ダム技術センター 首席研究員	川 崎 秀 明
	11:40～12:30	50	CME Dの活動について	ダム工事総括管理技術者会 会 長	黒 木 博
	12:30～12:40	10	閉講挨拶：(一財)日本ダム協会	専務理事 光 成 政 和	
	計	200			

※教科目及び講師については変更する場合がございます。